

アースサイエンス・ウィーク・ジャパン in 静岡 2019 実施報告

AGI (American Geoscience Institute) との連携の一環として、AGI が毎年世界各国で実施している第2回アースサイエンス・ウィークジャパンを静岡県で実施した。

1. 日時：2019年10月19日（土）、20日（日）

2. 役割分担

主催：アースサイエンスウィーク・ジャパン実行委員会

共催：静岡県立ふじのくに地球環境史ミュージアム、静岡大学、伊豆半島ジオパーク、
公益社団法人日本地球惑星科学連合、日本地学教育学会、静岡県地学会

協力：ジオガシ旅行団

3. イベント内容：

3-1. 展示・講演など

会場：静岡県立ふじのくに地球環境史ミュージアム

A. 特別講演

講演者：吉川 真 (JAXA)

タイトル：「はやぶさ2」の挑戦とこれまでの成果



B. 地球科学研究発表

実施日時：10月13日（土）

対象：中高校生、教育関係者、一般（定員100名）

静岡県地学会、学校教師、大学院生等の研究発表を実施。

《発表者》

静岡県地学会 各地域支部長による静岡の地質に関する講演

1. 糸魚川-静岡構造線の最近の知見

塩坂 邦雄 氏（静岡県地学会 中部支部 支部長）



2. 海岸の砂について

佐藤慶宥（静岡市立東豊田中学校、静岡大学 STEM アカデミー）

3. 博物館学について

竹林 知大氏（静岡大学大学院）

4. 静岡県西部のジオサイト

加藤 国雄 氏（静岡県地学会 西部支部 支部長）

5. 大淵丸尾溶岩流火口の再検討

斉藤 朗三 氏（静岡県地学会 東部支部 支部長）

C. 地球家族会議

日時：10月19日（土）、20日（日）

対象：一般（各回20名程度）

内容：19日 全5回実施 山田、竹林

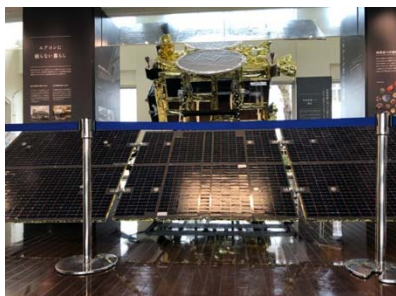
テーマ プレートテクトニクス、超高压変成岩、水循環、はやぶさ2について

20日 全6回実施 山田、坂田、竹林

テーマ 砂について、川原の石、断層について、火山について



D. 特別展示 「はやぶさ2」1/1 模型、隕石展示



日時：10月16日（水）～10月20日（日）

備考：この期間の博物館入場者は2,086名（前年度より40%増し。）

模型はNPO法人ギガスターより借用。

E. ジオガシ旅行団のジオガシキッチン

日時：10月19日（土） 10:30～12:00、14:00～15:30

対象：子供とその家族、一般（20名 x 2回）

URL：<https://geogashi.com/en/>

内容：伊豆凝灰岩を模したクッキーを作り、伊豆半島や伊豆凝灰岩の成り立ちについて説明を実施。VR伊豆半島ツアーも実施



3-2. 伊豆ジオパーク巡検

日時：10月20日（日）

講師：鈴木 雄介（伊豆半島ジオパーク専任研究員）

対象：一般（13名）

巡検場所：ジオリア、大室山、一碧湖、丹那断層観察

内容：今回は、プレートの動きに伴う大地の活動をテーマに、大室山、一碧湖、丹那断層を観察。ツアーをドローンで撮影を行い、facebook 機能を使い、ライブドローン中継を実施。また、ツアー中にドローン含めた映像をスマートフォンで編集し、twitter にアップすることで、参加者およびtwitter 閲覧者の興味を喚起。



4. Web

URL：<https://www.earthsciweekjp.org>